



お家の人の役に立つ実感を感じる体験を ～お手伝いのススメ～

校長 佐竹宏子

北海道とは思えない湿度の高い毎日が続いている。雨の日が多い訳ではないのですが、なんとなく今年の夏はカラッとしたさわやかな日が少ないような気がします。熱中症アラートが出ている日も数日ありましたが、この一学期間、校舎には絶え間なく元気な子どもたちの声が響き渡っていました。

さて、今年度は近年の温暖化？を鑑み、夏休みの日数が増え、いつもより長い夏休みになっています。ぜひこの長期休業中は、日頃なかなかできない体験をたくさんしてほしいと思います。興味のあることについて詳しく調べてみる、読みたかった本を読んでみる、行きたかったところに行ってみる、やってみたいことに挑戦するなど。

中でも校長のイチオシは、いろいろな「お手伝い」の体験です。「お手伝い」は家のスキルや習慣を身に付けるだけではなく子どもの「自己有用感」を育むことができます。お手伝いをしたら必ず感謝を伝えてあげてください。そうすると一緒に暮らす家族にとって自分は役に立っているという実感が持てます。それが「自己有用感」です。家族から「ありがとう」と言ってもらえるたびに自分の存在が尊重されるので自分に自信が持てるようになります。こうして得られた自身は、お手伝いだけでなく、たくましく生きる力や学習意欲、良好な人間関係づくりにも波及していくことでしょう。

明日からの30日間は子どもを家庭にお返しする時間です。ご家族で毎日をどんな風に過ごすのかしっかり話し合いこの30日間を幸せなものにしていただきたいと思います。親にとっても子どもにとっても忘れられない夏になりますよう、心からお祈りしています。末筆となりますが、1学期の間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

先日、「『叱らない』が子どもを苦しめる」（藪下遊・高坂康雅 ちくまプリマー新書）という本を読みました。昨今、「褒めて育てる」ことが有効だという考え方方が広がっていますが、それを「叱らない」「叱ってはいけない」という風に間違えて解釈してしまう大人がいる、とこの本では指摘しています。ここぞ！という時にきちんと叱られないと、社会に出てから「世界からの押し返し」（つまりルールを守らなければいけないということや、自由には義務や責任が伴うということ）にあって、対応できずに苦しむという話です。簡単に言うと、「小さいうちにわがままを押し通していたら、大きくなつて苦しみますよ」ということです。世の中は思い通りにならない方がむしろ多いものです。



自分の思い通りになることしか経験できていない子どもは、それを受け容れることができず、ポキリと折れてしまうことがある、というのはなんだか怖い話だと思いました。

これから時代を生きていく子どもたちには、思い通りにいかないことを柔軟に受け容れていく「しなやかさ」と、思い通りにならないことがあってもへこたれない「強さ」を育むことが私たち大人に課せられた課題なのかもしれません。

読んでみたいなと思われた方はいらっしゃるでしょうか？もし興味のある方がいらっしゃいましたら、いつでもお気軽にお声掛けください。校長室に置いてありますので、ご自由にお手にとっていただければと思います。

途別小学校の教育目標
あかるい子（徳）
かしこい子（知）
たくましい子（体）
知・徳・体をバランスよく育てよう

途別に縄文早期の遺跡が！



途別に早期縄文時代の遺跡があることはご存じでしょうか？

今、途別259の1において、7月から9月いっぱいにかけて、発掘調査が行われています。近くに住んでいる白木孝和さんが、ある日学校にいらっしゃり、この情報を教えてくださいました。「ぜひ、子どもたちに見せてあげてほしい。詳しいことは校長先生、現地に行って発掘している人と話してみて！」とのことでした。遺跡好きの私は、すぐに現地に足を運んでみました。現場ではたくさんの方が発掘作業をしておられました。その景色を見た時に、太古の時代からここ途別は、人が住むのに適した場所だったのだ・・・と改めてふるさと途別のすばらしさを発見したような誇らしい気持ちになりました。また、発掘現場に立った時に、現代を生きている私たちの暮らしと数千年前の人々の暮らしが交錯するような何とも言えない不思議な感覚を感じました。この感覚を子どもたちにも感じてもらえたなら・・・とその場で発掘をしている方に見学の申し込みをしました。北海道埋蔵文化財センターの担当者である吉田裕吏洋さんは、「お子さんに見ていただくことは、自分のふるさとに対する思いを新たにする体験になると思います。」と快く受け入れていただき、夏休み直前の25日（木）に5・6年生が見学させていただけたことになりました。

白木さんは、途別小学校にお孫さんがいるわけでもないのに、子どもたちのために…とこの情報を学校に届けてくださいました。地域の宝である子どもたちのために、忙しいお仕事の合間に学校に足をお運びいただきました。改めて地域に大切にされている途別小学校を実感する出来事でした。感謝の気持ちでいっぱいです。



遺跡見学の様子です。掘れば掘るほど、黒曜石の石器、石の道具、煮焚きした後の炭・・・等出てくる出てくる！！畑の下はお宝の山でした。



まだ帰りたくない・・・
後ろ髪引かれながら発掘現場を後にした5・6年生でした。

閉庁日について

先日のお便りでもお知らせしました通り、夏季休業中の
8月13日から15日までの3日間を閉庁日といたします。

学校の年間行事予定の中に記入されていおり大変申し訳ありません。これは教職員が仕事と生活のバランスをとり、リフレッシュし元気な姿で、これまで以上に効果的・効率的な教育活動が行えるよう、設定されています。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、何卒、この趣旨をご理解いただきますようお願ひいたします。



8月の行事予定

1 木	夏季休業
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	山の日
12 月	振替休業日
13 火	閉庁日
14 水	閉庁日
15 木	閉庁日
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	幕別教育の日
20 火	夏休み学習サポート教室 9:00~11:00
21 水	夏休み学習サポート教室 9:00~11:00
22 木	
23 金	通学路点検
24 土	
25 日	夏季休業終了日
26 月	2学期始業式 夏休み作品展（～9/6） スワディ号
27 火	クラブ④ 水泳学習② 校内研修
28 水	校内研修（実技研）
29 木	
30 金	水泳学習③ 職員会議
31 土	

夏休みは、自転車に乗って遊びに出かける機会が増えることが予想されます。いつも以上に自転車の安全点検をしっかりと行き、安全な乗り方を心掛けるようご家庭でもお声掛けをお願いいたします。